

# 第10回教育委員会定例会議事要録

詳細—教育部庶務課 電話03-3981-1141

附属機関又は会議体の名称	教育委員会第10回定例会	
事務局（担当課）	教育部庶務課	
開催日時	令和7年10月14日 午前10時00分	
開催場所	教育委員会室	
出席者	委員	清野 正（教育長）、 新井 裕（教育長職務代理者）、岩井 由美子、富士原 紀絵、 猪狩 和子、松宮 徹郎
	その他	教育部長、庶務課長、学務課長、放課後対策課長、学校施設課長、 指導課長、学校支援担当課長、図書館課長、教育センター所長、 統括指導主事2名
	事務局	庶務課庶務グループ係長、庶務課庶務グループ係員
公開の可否	一部公開 傍聴人 0人	
非公開・一部公開の場合は、その理由	報告事項第3・4号は、個人が特定され得る情報を扱うため非公開とする。	
会議次第	報告事項第1号 令和7年度の学校 ICT 機器の整備状況について (学校支援担当課) 報告事項第2号 令和7年度まとめ展について (教育センター) 報告事項第3号 令和7年度子どもスキップ・校庭開放における事件・事故報告 (9月) について (放課後対策課) 報告事項第4号 令和7年度学校におけるトラブル・事故について (指導課)	

休憩時間 00:00

終了時間 10:40

# 第10回教育委員会定例会議事要録

開催日 令和7年10月14日

開催場所 教育委員会室

事務局)

委員の皆様、おそろいでいらっしゃいます。

本日傍聴の方はいらっしゃいません。

清野教育長)

それでは、委員の皆様おはようございます。

只今から、第10回教育委員会定例会を始めます。

本日の署名委員をお願い申し上げます。富士原委員、猪狩委員、宜しく願いいたします。

次に、本日、非公開による審議とさせていただく案件を確認いたします。本日、非公開の案件は報告事項第3号、令和7年度子どもスキップ・校庭開放における事件・事故報告（9月）について、報告事項第4号、令和7年度学校におけるトラブル・事故についての2件です。それぞれ個人が特定され得る情報を扱うため、それぞれ非公開とさせていただきたいと存じます。

ご異議ございませんでしょうか。

(委員全員了承)

清野教育長)

それでは、2件について、非公開とさせていただきます。

(1) 報告事項第1号 令和7年度の学校ICT機器の整備状況について

清野教育長)

それでは、議事に入ります。

報告事項第1号、令和7年度の学校ICT機器の整備状況について、説明をお願いします。  
学校支援担当課長。

<学校支援担当課長 資料説明>

清野教育長)

それでは、ご質問、ご意見等をお願いいたします。

私の方から1点。今回入れ替えを実施するということですが、この新しいタブレットPCの機能というのでしょうか。スペックは上がっていると思いますが、子どもたちの立場からしたときに、どんなところにメリットがあるのか、その辺りを少し教えていただければと思います。いかがでしょう。

学校支援担当課長。

学校支援担当課長)

まず、子どもたちの視点ということですが、今回タッチペンが付いていまして、これまででは手でなぞるところを、ペンを使って書いたりすることができるということが一番だと思います。

それから、課題であった耐久性というところでも強化されることになりまして、今まででしたら76センチの高さから落としても大丈夫な耐久性がありましたが、それが今回120センチになりました。故障が多かった四隅の欠けについても、その辺りが強化プラスチックになりますので、子どもたちが多少ぶつけたとしても、故障になることはないというように見込んでいるところで、安定して使えるようになると思っております。

清野教育長)

それから、もう一つ、教育委員の先生方もそうですが、いろいろ学校を回っていただいております。そのときに授業を見ていると、正直申し上げると、もっともこのタブレットPCを使ってほしいという場面が多々ございまして、この辺りは学校支援担当課長なのか、指導課長なのか、現状、活用状況の認識、それから今後の方向性といったところのお考えを是非お聞かせいただければと思いますが、いかがでしょうか。

学校支援担当課長。

学校支援担当課長)

学校支援担当課の部門でいいますと、まず子どもたちが、どれだけ使っているかという、量ということで、LTEの通信量を今年度から毎月データとして取っているところです。その結果を学校にお知らせし始めましたが、学校の方からもっと使ってみようという声をいただいております。そういうところで他の学校と比べたりしながら、自分たちの成果も見える化をしていますので、利用促進していきたいと考えているところでございます。

清野教育長)

指導課長。

指導課長)

学校を回っていますと、学校間での差もありますし、一つの学校でもやはり教員間で差が生じていることは認識をしております。現在、池袋中学校と池袋第一小学校、それから池袋本町小学校と3校が研究指定を受けて、研究に取り組んでいます。手探り状況の中、取り組んでいますが、やはり今の世の中の状況を見ましても、いかに効果的に使っていくかということが課題になりますので、たくさん使う、使っていない学校はよりたくさん、様々な方法を試しながら使っていくという段階の学校もありますし、進んでいる学校につきましては、どんな場面で、どのように使っていくかというところ。子どもたち自身にも発達に応じて、効果的な使い方を自分で選択できるような、学びを進めていく必要があると考えており、その3校が先行して他の学校にも今後お示しをしていくような状況であります。

清野教育長)

このタブレットPCの活用につきましては、やはりいろいろな方が、いろいろな考えをお持ちであることは事実かと思えます。子どもたちの目が悪くなるのではないかという心配もありますし、私自身も使う時間が長くなればなるほどいいというように断言するというつもりはありませんが、ただ全国学力・学習状況調査の結果を見ましても、やはり自信をもってタブレットPCを使えるというように回答したお子さんの学力が高かったり、あるいは授業においてタブレットPCを使っている授業の方が楽しいとか、分かりやすいと答えている例も大変多いです。学力を上げていくという言葉が一番に据えながらも、そのためには今の時代、タブレットPCを効果的に使うということがマストだということは、是非先生方にもお伝えいただきたいと思えます。

誤解を恐れずに言えば、今、授業改善を積極的に、先端を担ってやっていこうという先生は、やはりタブレットにしっかりと正対して、どういう使い方をしたら子どもたちにとって学びが深まるだろうか、広がるだろうかということを相当考えていらっしゃるかと思えます。是非豊島区の先生方全員が、そのような視点で、このタブレットPCの活用について、いろいろと研究できるような雰囲気を指導課中心に醸成していただければと思いますので、宜しくお願いします。

富士原委員、補足をいただければと思います。いかがでしょう。

富士原委員)

教育長のおっしゃる通りだと思います。一つは、研修をどれだけ充実させるかというところはポイントかなと思います。タブレットもですが、電子黒板も、どこかの学校が研究指定でやっても、それが広まらないというのは、豊島区だけではない課題かなと思いますので、指導課の方で大々的に全ての教員が、困難をきたさずにタブレットや電子黒板を使えるような研修の機会を充実させていただければと期待しております。

清野教育長)

他、いかがでしょうか。

岩井委員。

岩井委員)

授業参観を各学校でさせていただくと、本当にこの教科ではこういう使い方ができるのか、こんなふうにするときっと手作業でやったら、これだけかかるぐらいの時間が一瞬でもう見えてしまうとか、驚くことがとても多いです。先生方も使い方に関してもサクサク使える子と、ゆっくりな子というのはデジタルに関してもいるようで、先生はとろどろで「分からなかったら前に戻るのボタンを押してね」とか、「みんな、ここまで付いてきていますか」とか、きちんとその子どもの目線に合わせて進めていただいているという授業が、本当に令和の授業だなと感じております。このICTを活用することで、学力のアップですとか、技術の習得、デジタル技術の習得ももちろんですが、先程ご説明いただきましたが、どうか大事に使うということも併せて、子どもたちには伝えていただけないかなと思いました。

清野教育長)

猪狩委員。

猪狩委員)

タブレットというのは、現在の生活から切っても切り離せない状況にあると思います。孫と話していても、すぐタブレットを持ってきていろいろやってくれるので、付いていけないという感じはあります。

現場の使い方としては、これを家庭にも持って帰って、家庭でもやるということですか。それとも学校に置いておいて、学校の授業のときに使うという使い方をしているのか、その辺、お伺いできればと思います。

清野教育長)

指導課長。

指導課長)

家庭にも毎日持ち帰って、もちろん宿題や自学にも活用するような状況をつくっております。

猪狩委員)

タブレットを導入してから先程お話があったように、このような新しい機器が入ったときに、必ずその健康被害というのは後になってついてきます。しばらく経ってからでないとそういうのは現れないということです。やはり今、近視が非常に増えているということは問題になっていて、それは持続的にずっと続けて使ってしまうと、目に影響があるということで、少し健康被害を生まないための健康にいいような使い方ということを同時に指導する。30センチ離す、姿勢を正しくすること、持続時間が1時間を超えると、しばらく休憩時間を入れて、遠くを見るなどです。あとは、外に出る。外に出ることによって、近視を予防するというのは、学会の研究でも分かっているもので、健康的に使うということと同時に、教えるというか、みんなが勉強する必要があるのではないかと思います。

今日は、間に合いませんでしたが、詳しく眼科の先生にお聞きしようと思っています。健康被害を生まないために、詳しく聞いて分かりましたら情報提供したいと思います。やはり、子どもの頃に近視になってしまうと、年を取ってから、網膜出血とか、他の合併症を起こすということが多くなるので、できるだけ正しい使い方、健康被害を生まない使い方というものも必要になってくるかなと思っています。

清野教育長)

では、宜しいでしょうか。

富士原委員。

富士原委員)

猪狩委員の質問の中で、持ち帰らせるということも想定しているということですが、ここ数年の間は重さが、ずっと問題になっています。たしか、ASUSというと思いますが、こちらの重さは、どれくらいですか。ASUS、このブランドを全然存じ上げないので。

清野教育長)

学校支援担当課長。

学校支援担当課長)

こちらでも端末の重さが、大体1.4キロです。国で、タブレットについては共通の仕様と  
いうのがありまして、一定の目安、1.5キロというのがありまして、それよりは軽いのか  
もしれないです。

清野教育長)

他、いかがでしょうか。

それでは本件了承といたします。

(委員全員異議なし 報告事項第1号了承)

## (2) 報告事項第2号 令和7年度まとめ展について

清野教育長)

続きまして、報告事項第2号、令和7年度まとめ展について。

教育センター所長。

<教育センター所長 資料説明>

清野教育長)

ご質問、ご意見等ございましたら、お願いいたします。

猪狩委員。

猪狩委員)

毎年これはやっていらっしゃると思いますが、このようにみんなまとまって何かをする  
とか、指導するというのはかなりご苦労があるかなというようにも感じられますが、これ  
は、みんなが参加してやろうというような雰囲気になっているのでしょうか。

清野教育長)

教育センター所長。

教育センター所長)

いわゆる舞台発表は通常学級でやっている学芸会のような、みんなで劇をしたり、何か  
を作って、演じて、発表するという機会です。特に固定級のお子さんたちは、人から見ら  
れるプレッシャーであったり、いろいろなところがありますので、少人数でやることによ  
って、安心してできるということと、小学校と中学校一緒にこのブロックでやることで、  
特に小学生は中学生になったら「ああいうことができるようになるんだ」というビジョン  
がもてるということと、中学生も、「僕たちも小学校のときはこうだったな」というこ  
とで、優しく関わってあげるといような相乗効果があります。

猪狩委員)

希望の持てるご発言で、安心いたしました。

清野教育長)

宜しいでしょうか。

それでは本件了承といたします。

(委員全員異議なし 報告事項第2号了承)

<非公開>

(3) 報告事項第3号 令和7年度子どもスキップ・校庭開放における事件・事故報告  
(9月)について

清野教育長)

続きまして、非公開の案件に入ります。

報告事項第3号、令和7年度子どもスキップ・校庭開放における事件・事故報告(9月)について。

放課後対策課長。

個人が特定され得る情報を含む案件のため非公開

(委員全員異議なし 報告事項第3号了承)

(4) 報告事項第4号 令和7年度学校におけるトラブル・事故について

清野教育長)

続きまして、報告事項第4号、令和7年度学校におけるトラブル・事故について。

指導課長。

個人が特定され得る情報を含む案件のため非公開

(委員全員異議なし 報告事項第4号了承)

清野教育長)

それでは他にないようでしたら、以上で教育委員会第10回定例会を閉じることといたします。

本日はどうもありがとうございました。

(午前10時40分 閉会)